

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **07-154520**

(43)Date of publication of application : **16.06.1995**

(51)Int.Cl.

**H04N 1/00**

**H04N 1/32**

(21)Application number : **05-300733**

(71)Applicant : **RICOH CO LTD**

(22)Date of filing : **01.12.1993**

(72)Inventor : **NAKAMURA HISASHI**

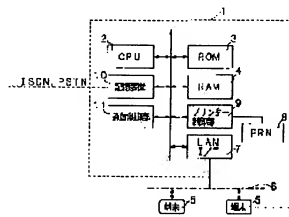
## (54) MULTI-MEDIUM SERVER

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To reduce the transmission cost by adding terminal individual information to each page so as to designate an individual terminal equipment and to attain transmission processing to plural terminal equipments with one call thereby reducing a transmission time.

**CONSTITUTION:** When an original is sent to plural terminal equipments 5, individual information of terminal equipment destination such as a sub address is added to each page so as to designate an individual terminal equipment 5 connected to a LAN 6 of a multi-medium server 1 and the original is sent. A receiver side multi-medium server 1 uses a communication control section 11 to receive the original from the sender side via a LAN.I/F 7 and allows a storage device 10 to store terminal

equipment information added to each page. After the end of communication, the terminal information is extracted and the reception of the original is informed to a terminal equipment designated in terms of destination data. Thus, when an original is sent to plural terminal equipments in the same multi-medium server, the original is sent to plural terminal equipments by one transmission processing.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.05.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 16.09.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-154520

(43) 公開日 平成7年(1995)6月16日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>H 0 4 N 1/00  
1/32

識別記号

1 0 4 A

庁内整理番号

Z 7251-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平5-300733

(22) 出願日 平成5年(1993)12月1日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 中村 久

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

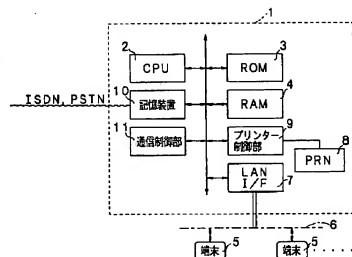
(74) 代理人 弁理士 有我 軍一郎

(54) 【発明の名称】 マルチメディアサーバー

(57) 【要約】

【目的】 同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に原稿を送信する場合、1回の送信で複数の端末に送信を行うことができ、送信時間を短縮して送信コストを削減することができる。

【構成】 送信側端末で送信する原稿のページ毎に送信先端末を指定する端末個別情報を付加して送信してきた原稿を受信する原稿受信部と、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報が付加された原稿を蓄積する原稿蓄積部と、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を通知する原稿受信旨通知部とを有する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】送信側端末で送信する原稿のページ毎に送信先端末を指定する端末個別情報を付加して送信してきた原稿を受信する原稿受信部と、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報が付加された原稿を蓄積する原稿蓄積部と、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を通知する原稿受信旨通知部とを有することを特徴とするマルチメディアサーバー。

【請求項 2】送信側端末で送信する原稿毎に送信先端末を指定する端末個別情報とページ数を付加して送信してきた原稿を受信する原稿受信部と、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報及びページ数が付加された原稿を蓄積する原稿蓄積部と、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を通知する原稿受信旨通知部とを有することを特徴とするマルチメディアサーバー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、マルチメディアサーバーに係り、詳しくは、ファクシミリサーバー等に適用することができ、特に、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に原稿を送信する場合、1回の送信で複数の端末に送信を行うことができ、送信時間を短縮して送信コストを削減することができるマルチメディアサーバーに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、ファクシミリ中継方法については、例えば特開平 3-102951 号公報で報告されたものがあり、ここでは、中継局は、中継宛先の一部を転送中継局に中継依頼し、転送中継局は、依頼された中継宛先に画面情報を順次送信するとともに、送信結果を中継依頼局に通知する他、中継局は、転送中継依頼を行った旨を中継依頼局に通知するように構成したため、中継局と転送中継局が中継動作を行うために、中継局が中継動作のために費やす時間を短縮することができるものと、1つの中継動作に要する時間を短縮することができる他、中継依頼結果が中継局及び転送中継局から各々中継依頼局に通知するように構成したので、中継依頼局では、確実に中継結果を知ることができるという利点を有する。

【0003】次に、従来、ファクシミリサーバーについては、例えば特開平 3-289756 号公報で報告されたものがあり、ここでは、個人識別情報判別装置により個人識別番号の送信要求を出し、この個人識別番号を受信すると、電子メール発信装置が保持している個人識別番号-アドレスを求め、これを宛先として電子メールの送信を行うように構成したため、LAN に接続されたワー

クステーションのオペレータは、外部のファクシミリ装置から送られてきた画像データをワークステーションから得ることができるといふ利点を有する。

【0004】さて、従来のマルチメディアサーバーには、LAN に接続されている送信側端末から送信してきた原稿を受信し、この受信した原稿を記憶装置に蓄積し、送信側端末に対して原稿を受信した旨を通知した後、送信側端末から原稿確認要求をしてきた場合、記憶装置内の受信原稿を出力するように構成したものが知られている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記したような従来のマルチメディアサーバーでは、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に対して原稿を送信する場合、同じマルチメディアサーバーに接続されている端末であっても、端末の数だけ発呼、通信及び切断を繰り返し行わなければならないため、送信時間に長時間を要す等、送信コストが増加するという問題があった。

【0006】そこで、本発明は、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に原稿を送信する場合、1回の送信で複数の端末に送信を行うことができ、送信時間を短縮して送信コストを削減することができるマルチメディアサーバーを提供することを目的としている。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】上記請求項 1 記載の発明は、送信側端末で送信する原稿のページ毎に送信先端末を指定する端末個別情報を付加して送信してきた原稿を受信する原稿受信部と、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報が付加された原稿を蓄積する原稿蓄積部と、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を通知する原稿受信旨通知部とを有することを特徴とするものである。

【0008】請求項 2 記載の発明は、送信側端末で送信する原稿毎に送信先端末を指定する端末個別情報とページ数を付加して送信してきた原稿を受信する原稿受信部と、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報及びページ数が付加された原稿を蓄積する原稿蓄積部と、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を通知する原稿受信旨通知部とを有することを特徴とするものである。

## 【0009】

【作用】請求項 1 記載の発明では、送信側端末で送信する原稿のページ毎に送信先端末を指定する端末個別情報を付加して送信してきた原稿を原稿受信部により受信し、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報が付加された原稿を原稿蓄積部に蓄積した後、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積

した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を原稿受信旨通知部により通知できるように構成する。このため、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に対して原稿を送信する場合に、マルチメディアサーバー上の個別端末をサブ・アドレス等の端末個別情報をページ毎に付加することによって指定して、原稿を送信することができるので、1度の発呼により複数の端末に送信処理を行うことができる。従って、1回の送信で複数の端末に送信を行うことができるので、送信時間を短縮して送信コストを削減することができる。

【0010】請求項2記載の発明では、送信側端末で送信する原稿毎に送信先端末を指定する端末個別情報とページ数を付加して送信してきた原稿を原稿受信部により受信し、該原稿受信部で受信した送信先端末を指定する端末個別情報及びページ数が付加された原稿を原稿蓄積部に蓄積し、複数の端末に原稿を送信する場合、該原稿蓄積部に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨を原稿受信旨通知部により通知できるように構成する。このため、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に対して原稿を送信する場合に、マルチメディアサーバー上の個別端末を、サブ・アドレス等の端末個別情報とページ数を送信原稿毎に付加することによって指定して、原稿を送信することができるので、1度の発呼により送信処理を行うことができる。このため、1回の送信で複数の端末に送信を行うことができるので、送信時間を短縮して送信コストを削減することができる。

#### 【0011】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。図1は本発明の実施例1、2に適用できるマルチメディアサーバーのシステム構成を示すブロック図である。本実施例のマルチメディアサーバー1は、システム全体の制御を司るためにシステム全体の処理に対する命令を出すCPU2と、CPU2が命令を出すうえでプログラムが記憶されているROM3と、CPU2の動作に必要なプログラムの作業領域を記憶するRAM4と、マルチメディアサーバー1と個人の端末5が接続されたLAN6とのインターフェース部分であるLANインターフェース7と、送受信原稿等を出力するプリンター8と、プリンター8を制御するプリンター制御部9と、送信原稿や受信原稿、及び送信元端末機能等を記憶する記憶装置10と、ISDN又はPSTN回線とのインターフェースを有し、かつ通信を行う通信制御部11等から構成されている。

【0012】（実施例1）本実施例（請求項1）は、図1のマルチメディアサーバー1を適用させることができる。ここでは、請求項1に係る特徴部分を具体的に説明する。図2は本発明の請求項1に係る実施例1の操作フローを示すフローチャートである。まず、送信者は、複数の端末5に向けて原稿を送信する場合、マルチメディアサーバー1のLAN6に接続された個別端末5を、サ

ブ・アドレス等の端末宛の個別情報をページ毎に付加することによって指定して、原稿を送信する。この時、送信側端末でサブ・アドレス等の端末宛の個別情報をページ毎に付加された原稿がマルチメディアサーバー1に送信される。次いで、受信側のマルチメディアサーバー1は、送信側端末5からの原稿を受信すると、受信した原稿とともに、ページ毎に付加された端末情報を最終ページになるまで記憶装置10内に記憶しておく（処理S<sub>1</sub>、S<sub>2</sub>）。そして、最終ページまで記憶し、通信を終了した後（処理S<sub>3</sub>）、記憶装置10に記憶した端末情報から宛先データを取り出し（処理S<sub>4</sub>）、この取り出した宛先データで指定された端末に対して原稿を受信した旨の通知を最終ページになるまで行う（処理S<sub>5</sub>、S<sub>6</sub>）。

【0013】次に、図3は本発明の請求項1に係る実施例1のブロック例を示す図である。まず、送信側端末5は、同一のマルチメディアサーバー1内の複数の端末5に原稿を送信する場合、送信する原稿の各ページにそのページを送信する送信先端末のサブ・アドレス等の個別情報を付加して、原稿を送信する。そして、受信側のマルチメディアサーバー1は、各々のページに付加された個別情報を記憶し、通信終了後に、記憶装置10に記憶した端末情報の宛先データで指定された各端末に対して原稿を受信した旨の通知を行う。

【0014】このように、本実施例（請求項1）では、送信側端末で送信する原稿のページ毎に送信先端末を指定する端末個別情報を付加して送信してきた原稿をLANインターフェース7を介して通信制御部11により受信し、この受信した送信先端末を指定する端末個別情報が付加された原稿を記憶装置10に蓄積した後、複数の端末に原稿を送信する場合、記憶装置10に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を受信した旨をLANインターフェース7を介して通信制御部11により通知できるように構成する。このため、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に対して原稿を送信する場合に、マルチメディアサーバー上の個別端末をサブ・アドレス等の端末個別情報をページ毎に付加することによって指定して、原稿を送信することができるので、1度の発呼により複数の端末に送信処理を行うことができる。従って、1回の送信で複数の端末に送信を行うことができるので、送信時間を短縮して送信コストを削減することができる。

【0015】（実施例2）本実施例（請求項2）も、図1のマルチメディアサーバー1を適用させることができる。ここでは、請求項2に係る特徴部分を具体的に説明する。図4は本発明の請求項2に係る実施例2の操作フローを示すフローチャートである。まず、送信者は、複数の端末5に向けて原稿を送信する場合、マルチメディアサーバー1のLAN6に接続された個別端末5を、サブ・アドレス等の端末宛の個別情報とページ数を送信す

る原稿毎に付加することで指定して、原稿を送信する。この時、送信側端末でサブ・アドレス等の端末宛の個別情報を原稿毎に付加された原稿がマルチメディアサーバー 1 に送信される。次いで、受信側のマルチメディアサーバー 1 は、送信側端末 5 からの原稿を受信すると、受信した原稿とともに、原稿毎に付加された端末情報とそのページ数を最終ページになるまで記憶装置 10 内に記憶しておく（処理 S<sub>111</sub>、S<sub>112</sub>）。そして、最終ページまで記憶し、通信を終了した後（処理 S<sub>113</sub>）、記憶装置 10 に記憶した端末情報から宛先データを取り出し（処理 S<sub>114</sub>）、この取り出した宛先データで指定された端末に対して原稿を受信した旨の通知を最終ページになるまで行う（処理 S<sub>115</sub>、S<sub>116</sub>）。

【0016】次に、図 5 は本発明の請求項 2 に係る実施例 2 のプロトコル例を示す図である。まず、送信側端末 5 は、同一のマルチメディアサーバー 1 内の複数の端末 5 に原稿を送信する場合、送信する各原稿に受信端末のサブ・アドレス等の個別情報とページ数を付加して、原稿を送信する。そして、受信側のマルチメディアサーバー 1 は、各々の原稿に付加された個別情報とページ数を記憶し、通信を終了した後に、記憶装置 10 に記憶した端末情報の宛先データで指定された各端末に対して原稿を受信した旨の通知を行う。

【0017】このように、本実施例（請求項 2）では、送信側端末で送信する原稿毎に送信先端末を指定する端末個別情報とページ数を付加して送信してきた原稿を LAN インターフェース 7 を介して通信制御部 11 により受信し、この受信した送信先端末を指定する端末個別情報及びページ数が付加された原稿を記憶装置 10 に蓄積し、複数の端末に原稿を送信する場合、記憶装置 10 に蓄積した端末個別情報の送信先端末に原稿を LAN インターフェース 7 を介して通信制御部 11 により受信した旨を通知できるように構成する。このため、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に対して原稿を送信する場合に、マルチメディアサーバー上の個別端末を、\*

\* サブ・アドレス等の端末個別情報とページ数を送信原稿毎に付加することで指定して、原稿を送信することができるので、1 度の発呼により複数の端末に送信処理を行うことができる。このため、1 回の送信で複数の端末に送信を行うことができるので、送信時間を短縮して送信コストを削減することができる。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、同一のマルチメディアサーバー内の複数の端末に原稿を送信する場合、1 回の送信で複数の端末に送信を行うことができ、送信時間を短縮して送信コストを削減することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例 1、2 に適用できるマルチメディアサーバーのシステム構成を示すブロック図である。

【図 2】本発明の請求項 1 に係る実施例 1 の操作フローを示すフローチャートである。

【図 3】本発明の請求項 1 に係る実施例 1 のプロトコル例を示す図である。

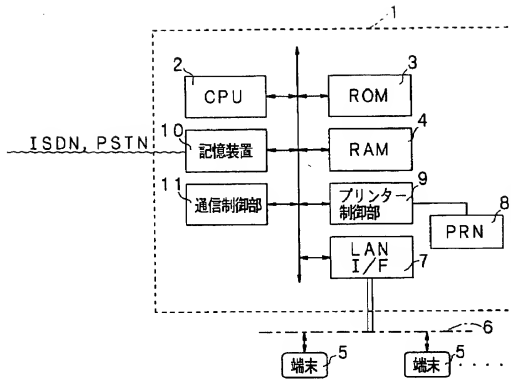
【図 4】本発明の請求項 2 に係る実施例 2 の操作フローを示すフローチャートである。

【図 5】本発明の請求項 2 に係る実施例 2 のプロトコル例を示すフローチャートである。

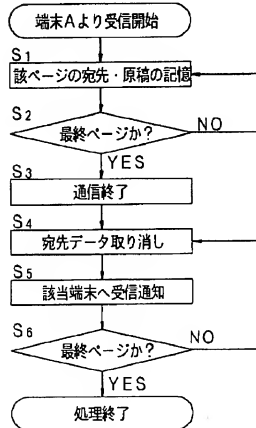
【符号の説明】

- 1 マルチメディアサーバー
- 2 CPU
- 3 ROM
- 4 RAM
- 5 端末
- 6 LAN
- 7 LAN インターフェース
- 8 プリンター
- 9 プリンター制御部
- 10 記憶装置
- 11 通信制御部

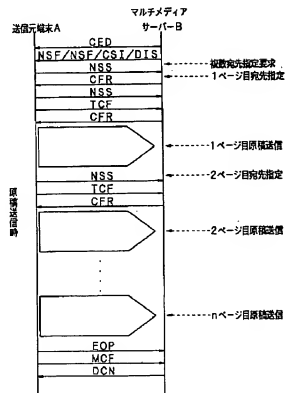
【図1】



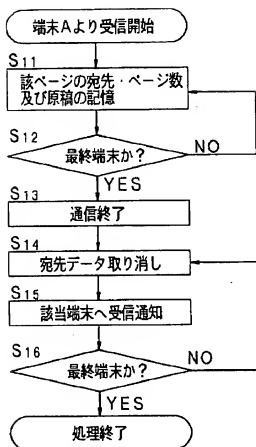
【図2】



【図3】



【図 4】



【図 5】

